

No.	機能仕様
1. 全般	
(1) 概要	
1	学校図書館向けに開発された学校図書館専用のパッケージソフトであること。
2	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更されること
3	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること
4	全ての画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること
5	使用する画面のフォントは任意に設定できること
6	日付表示は、西暦・和暦の選択ができること
7	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること
8	画面上の基本処理（選択・コード選択）がマウスおよびファンクションキーで操作できること。
9	TABキー、Enterキーにより各入力項目間のカーソルを移動できること
10	処理実行、戻る等のキーボード操作、ファンクションキー操作及びボタンの配置に統一性があること
11	全てのボタンについてショートカットキーを配置し、ファンクションキー（キーボード）によっても操作できること
12	メニューボタンが大きく、ディスプレイがタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること
13	バーコードリーダによる読み取り時、端末からも読み取り確認音が出ること。また、端末で読みとれていない場合はエラー音を出すこと。
14	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること
15	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること
16	基本的な操作（貸出・返却・検索・利用者登録・資料登録など）画面の展開は、メニュー画面に戻らなくてもファンクションキーを押すことにより、直接画面を展開することが可
17	どの画面を起動しているときでも、ファンクションキーによりワンタッチで別画面を起動できること
18	ワンタッチで起動する別画面は、任意に設定できること（4つ以上）
19	画面展開の際、不要な確認については求めることなく展開すること
20	画面の遷移状況を表示し、運用の流れが把握できること。又、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例) ①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、画面上に遷移した履歴が表示され、①②③どの画面にも1クリックで戻ること
21	業務メニューの構成は学校ごと、端末ごと、業務権限ごとに変更が可能なこと。
22	業務メニュー画面は、各ボタンの名称、配置場所、配置の順番、空きスペースなども設定可能なこと
23	利用者区分（例：司書、教員、児童・生徒など）ごとに業務権限を設定でき、機能制限が可能であること。
24	児童・生徒が利用することに十分配慮されたグラフィカルで分かりやすい業務メニューを備えていること。
25	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能であること
26	業務画面のトップに、長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌が何件あるのかを自動でお知らせ表示できること またお知らせ表示画面から直接、対象資料の一覧画面へ遷移できること
27	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日次処理など特別な作業を必要としないこと
28	各種リスト、統計結果は、すべてテキストまたはCSV形式での出力が可能なこと
2. カウンター業務	
(1) 全般	
1	貸出・返却・検索等の画面は、常時画面に表示でき、その切替えがマウスまたはバーコードリーダにより可能であること
2	複数のメニュー画面を同時起動できること
3	バーコードの読み込みにより、貸出画面/返却画面切替が可能なこと
4	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること
5	児童・生徒専用の貸出・返却・検索機能および画面を有すること
6	主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例) 複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できる 以下の一覧については、表示する項目内容、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること
7	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧 （1利用者に対する予約タイトルの一覧） ・利用者検索における検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧
8	利用者に対してコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で複数登録できること。また、通知は毎回表示・表示後消去・表示しない選択ができること
9	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名/資料名が確認できること
10	資料に対してコメント通知機能を持ち、修理中・付録あり・その他の案内等を定型文・自由文で複数登録できること。また、通知は毎回表示・表示後消去・表示しない選択ができること
11	資料情報及び利用者情報に付加するコメント（定型文、自由文）の数に制限がないこと
12	コメントの通知音は、貸出または返却時にのみ鳴らすように制御できること
13	保管場所は学校により設定が異なる為、権限により職員で設定変更・追加ができること。
14	貸出画面、返却画面画面で、対象とする書名の上でマウスの右クリックを押すことにより、ローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること
15	各種通知メッセージはアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること
(2) 貸出業務	
1	基本的にはキーボードやマウスの操作なくバーコードの読込みのみで貸出・返却処理ができること。
2	貸出・返却業務をよりスムーズに行う為、確定処理などの操作無しで実施できること。
3	利用者番号と資料番号を読み込んだ時点で貸出を確定し、データベースを更新すること
4	複数冊の資料の貸出処理を行う場合、利用者バーコードの読み込み後、貸出を行う資料のバーコードを連続して読み込む事で複数冊の資料の貸出処理ができること
5	貸出処理を行った資料の貸出取消が可能なこと なお、貸出取消が可能な対象は貸出当日中の資料のみとする
6	貸出処理画面から貸出した資料の一覧をワンタッチで印刷できること。また、レシートプリントにも対応していること
7	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること。当日分/全体分の切り替えができること
8	貸出資料一覧画面から、継続貸出・強制返却（強制不明）・貸出取消・期限変更の処理が可能なこと
9	貸出取消を行った場合、貸出統計より自動的に減算すること

No.	機能仕様
10	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理されること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた判断により処理を行える設定もできること
11	不明資料を貸出処理すると、自動的に通常の状態区分に変更されること
12	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）毎、学校毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、延滞警告回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること
13	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること
14	利用者に対して予約が割り当たっている場合、自動的に通知画面が表示されること
15	予約していた資料を貸し出すと、予約データが消去されること
16	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと
17	図書館カレンダーは学校毎に設定できること
18	各学校毎に利用規則（貸出期間、貸出上限冊数、予約上限冊数）を設定できること
19	各学校毎に夏休み（長期休暇）などの固定返却期限日を設定できること
20	貸出画面から利用規則を一時的に変更できること。また、貸出画面を閉じると一時的な変更が解除され、次の貸出処理時には通常の規則に戻る
21	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること （ただし、延期回数が一定回数を超過している時や予約資料は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とする事もできること）
22	貸出中資料の延長を禁止する場合には、貸出日からの日数による自動判断を行なえること。また、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を選択できること
23	貸出画面より、利用者検索画面・貸出中/予約中資料一覧画面・利用者詳細情報画面・利用者登録画面・期限変更画面・予約処理画面・貸出資料一覧印刷画面へと遷移できること
24	任意の期間内で利用者が同じ本を複数回貸出が行えないよう設定できること。
25	バーコードではなく、利用者検索から利用者の呼び出しができること。 また、利用者検索では、利用者区分（児童・生徒や教員など）・氏名・所属情報（学科/学年/組/出席番号）・学籍番号・利用者番号から検索できること
26	貸出資料の書名をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示できること
27	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行うことができること
28	紛失登録した資料は督促対象から除くことができること
29	紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと
30	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること。また、操作を行わず一定時間が経過すると表示情報が自動的にクリアされること
31	画面にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面をキーボードから展開できること
32	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者情報（学科/学年/クラス/出席番号/氏名）・資料種別（図書/雑誌/AV）毎の返却期限および貸出可能数・貸出中/延滞中/督促中/予約中資料数・今年度/通算貸出累計の表示が可能であること
33	貸出中資料（全資料、延滞資料、督促資料）の表示/非表示及び色設定（文字色、背景色）の設定が可能なこと
34	表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、表示内容や配置、表示幅等が変更できること
35	個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示/非表示を設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること
36	個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示/非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出中資料一覧画面に展開する資料名を確認できること
37	個人情報保護の観点から、利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すこともできること
38	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えること また、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること
39	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自校貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること
40	画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること （表示する情報は、①その端末での状況、②その学校での状況のこと）
41	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること
42	貸出処理時は、操作者が利用者番号読み込みと資料番号読み込みとを見間違わないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号であることを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること
43	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合など、正常にバーコードを読み取れなかった時にはわかりやすい警告音がること
44	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約有利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで通知できること その際、ウインドウによる通知表示も任意に行えること
45	コメント付き資料、除籍資料、不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること
46	今年度貸出冊数の目標冊数を学校単位または学年単位、またはクラス単位で設定することができること また、目標冊数は最終目標冊数以外に段階的な目標冊数を制限なく設定することができること
47	今年度貸出冊数の目標に到達した際に画面上にお知らせする表示や音で通知できること
48	今年度貸出冊数の目標機能は、学校ごとに任意のタイミングで有効・無効を切り替えることができること
(3) 返却業務	
1	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却が確定すること
2	資料番号を読み込んだ時点でデータベースを更新し、確定処理等は不要なこと
3	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に不明・紛失状態を解除できること
4	ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却する機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） その際、チェックされた内容の一覧リストを印字できること
5	返却画面から返却者の貸出中資料一覧画面へ遷移でき、継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること
6	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダーによる画面切替えもできること
7	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること。また、操作を行わず一定時間が経過すると表示情報が自動的にクリアされること
8	個人情報保護のため、返却画面では利用者名および未返却本一覧情報の表示/非表示を任意で設定できること
9	表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、表示内容や配置、表示幅等が変更できること
10	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること
11	画面上にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、返却者確認・貸出一覧・予約一覧・利用者詳細・返却者一覧・返却本確認の画面へ遷移が可能であること
12	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること
13	未返却資料の延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと
14	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること （表示する情報は、①その端末での状況、②その学校での状況とすること）
15	返却資料の詳細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌情報、ローカル情報一覧）が表示できること
16	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示されること
17	資料返却時に予約割り当てメッセージが表示できること。設定により氏名の表示・非表示が設定できること。
18	予約割り当て時には、レポートに通知が印字できること
19	返却した利用者に対する予約割当て、コメント情報の通知が自動的に表示されること

No.	機能仕様
20	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること
21	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合など、正常にバーコードを読み取れなかった時にはわかりやすい警告音がなること
22	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、必要に応じて音やメッセージで職員に通知できること
23	資料から借用した利用者の履歴を確認できること。また個人情報の観点により、履歴を蓄積しない（返却時に履歴消去）設定や、直近何名までの履歴を蓄積するかの設定、もしくは当日のみ履歴確認を可能にするかの設定が行えること
24	利用者を特定することにより、該当の利用者が当日返却した資料を確認できること
(4) 資料検索業務	
1	資料名・著者名・出版者・件名・ISBN・請求記号・資料番号などから検索が可能であること
2	資料情報に任意で登録した独自キーワードから検索が可能であること
3	検索対象として、資料種別・所蔵館・保管場所・資料状態（貸出中/不明/回送中など）・所蔵状況（所蔵/発注/未所蔵）を指定できること
4	資料名・著者名・出版者・件名・ISBN・請求記号・MARC番号・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索が可能であること
5	資料区分（図書・雑誌・AVなど）の複数選択による横断検索ができること
6	論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応していること）
7	項目により前方/後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること
8	タイトルは1文字以上から検索ができること。また、最低入力文字数の設定も可能であること
9	あいまい検索ができること。
10	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること）
11	検索中断ボタンを有するほか、中断件数を設定できること
12	少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること
13	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること。
14	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索、条件で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること
15	全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること
16	所蔵場所区分、請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること）
17	絞り込み条件として、資料種別・所蔵校・保管場所・状態区分・除籍状態・受入区分・貸出区分・受入先・予算区分・購入（備品）区分・貸出開始日・媒体区分・利用対象・流通区分・刊行形態）が指定できること また、絞り込み条件の指定パターンを複数保存できること
18	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること （その関連を一覧画面で確認できること）
19	画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること
20	外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと
21	検索結果を自動的に保存（件数は任意に設定）すること。また、検索履歴を選択することに再検索を実行でき、より最新の検索結果を表示すること （同一校内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること）
22	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合、検索結果のタイトル一覧画面に自動的に遷移できること また、その件数は任意に設定できること
23	検索後に表示されるタイトル一覧画面から複本（ローカル）一覧画面、発注画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること
24	検索結果のタイトル一覧画面に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること
25	検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること
26	貸出中の資料の場合、複本一覧画面から貸出中の利用者氏名を確認でき、1クリックで利用者詳細情報画面へ遷移できること また、個人情報保護の観点により、貸出中の利用者氏名を表示させない設定も可能であること
27	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンクリックで予約一覧画面を展開し、他の予約者を一覧で確認できること
28	タイトル一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、タイトル・著者名・出版年月・請求記号による並べ替えができること また、昇順・降順を指定できること
29	タイトル一覧画面で現在貸出可能、貸出中、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること
30	検索結果として表示する項目は任意に設定できること
31	タイトル一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること
32	検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面（複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細）に展開できること
33	検索結果のタイトル一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること
34	MARCタグ情報画面では、登録されタグ情報の参照、追加、修正が行えること
35	検索結果画面から、資料の所蔵冊数・未所蔵冊数・発注中冊数・予約件数などの状態が把握できること
36	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること（目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること）
37	検索結果画面（書名単位）の一覧を印刷できること。また、一覧から印刷対象を任意で選択できること
38	検索結果該当資料（書名単位）をCSVファイルに出力できること
39	児童・生徒専用の検索機能および画面を有すること
40	予め画像や音声登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること
41	資料に登録された児童・生徒の感想文や司書や先生による推薦文を閲覧または検索できること
42	所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索をTOOLi-Sサーバと連携して実施できること
43	TOOLi-Sサーバとの連携について、書名、著者名、件名などをAND、OR検索できること
44	TOOLi-Sからヒットした書誌情報と所蔵情報は色を変えて表示できること
45	TOOLi-Sからヒットした書誌情報の詳細情報が表示できること
46	詳細情報よりデータのダウンロードを行い、図書館データベースに取り込むことができること
(5) 予約業務	
1	資料検索結果から予約処理に展開することができること
2	予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること また、貸出予定日を表示できること
3	利用者区分ごとに予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限に達する場合は通知画面を表示し、続行・中断が選択できること
4	予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること
5	特定の予約（割当て済みを含む）を取消できること
6	受取希望日の指定が可能なこと
7	受取希望日を過ぎた予約がある場合、業務画面トップに自動的にお知らせが表示され、貸出画面や返却画面でも通知が表示され利用者に案内が可能であること。
8	予約リストを出力することができ、出力結果から一括または個別の予約取消・予約割当解除が行えること
9	資料一覧画面で複数の資料を選択し、一括で予約を行えること
10	グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てること）が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと
11	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること

No.	機能仕様
12	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること
13	通常予約済みの複数予約情報を再度グループ予約化、セット予約化できること
14	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること (現物のバーコードを読み込むことで直接予約をかけられること)
15	複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、いずれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること
16	予約した際の予約日時を管理することができること
17	予約された資料の割当方法(返却待ち、借受待ち、発注待ち等)の情報を管理できること
18	特定資料に対して、期間を指定した予約受付制限を実施することができること
19	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと
20	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、司書の判断により予約を受付ける設定にもできること
21	予約が割り当たった利用者を抽出し、予約連絡票(リスト及びひも票)の出力が可能であること。 また、個票形式で出力する場合、プライバシーに配慮し、書名の印字有無を選択できること。
22	予約者の予約・貸出状況(予約数・貸出数・督促数・延滞数)を予約受付画面に表示できること
23	基本的に予約した日時順で優先されるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能であること
3. 資料管理業務	
(1) 書誌管理業務	
1	書誌情報として、書名・巻号・著者名・出版社・発売元・出版年月・NDC・ISBN・価格・サイズ・ページ・件名(学習件名)・内容紹介・言語区分・媒体区分・利用対象区分を
2	図書館流通センター「TOOLi」または「TOOLi-S」とのAPIによる連携に対応していること
3	図書館流通センターからの購入本は自動または手動による取込処理が実行できること
4	TOOLi-SのMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること また、TOOLi-Sのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録も可能であること
5	MARC情報が無い資料も手入力による登録ができること
6	登録済書誌情報を検索して、検索結果から複本として追加登録できること
7	ISBNコードがある資料については、同一の図書データが存在する場合に自動的に複本として登録されること。
8	複本の解除・登録が任意で行えること
9	登録済書誌情報画面から、利用状況(通算/当年予約累計・利用可能冊数など)を確認できること
10	任意の独自キーワードを登録でき、独自キーワードから検索も行えること
11	感想文・推薦文を登録できること
(2) 資料ローカルデータ管理業務	
1	資料ローカル情報として、請求記号・資料状態・保管場所・禁帯区分・貸出区分・受入区分・受入先・予算区分・購入区分・価格区分・受入日・定価・本体価格・受入価格・セツ ト数を登録できること また、必須とする項目は任意で指定でき、必須項目については背景色を任意の色へ設定できること
2	資料ローカル情報に対してコメント登録機能を持ち、修理中・付録ありなどの通知を定型文・自由文で複数登録できること。また、通知は毎回表示・表示後消去・表示しない指定が
3	資料ローカル情報を資料バーコード読み込みによる連続変更による一括変更ができること (変更内容: 請求記号・所蔵館・保管場所・受入区分・受入日・受入先・所在館・貸出区分・価格区分・予算区分・購入区分・状態区分・動怠区分・コメント)
4	資料ローカル情報を任意の条件指定、または検索結果からの一括変更ができること (変更内容: 請求記号・所蔵館・保管場所・受入区分・受入日・受入先・所在館・貸出区分・価格区分・予算区分・購入区分・状態区分・動怠区分・コメント)
5	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認及び一覧表の印刷が可能であること
6	児童・生徒に対して、資料を検索対象とするか否かの設定が可能であること
7	資料の除籍処理は、①除籍予定、②本除籍の段階を踏んで処理を行えること
8	除籍予定入力は、任意の除籍理由を指定してバーコードの読み取りにより処理ができること
9	本除籍処理は、除籍予定日・除籍理由・購入区分・受入区分・所蔵館・資料種別を指定して一括で処理ができること
10	本除籍処理時、除籍日を除籍予定日とするか任意の日付にするか選択できること
11	除籍予定または除籍済みリストを印刷またはテキスト出力できること
12	不明本については、点検不明回数や初回点検不明日を指定して、一括除籍予定または一括本除籍が可能であること
13	雑誌については、保存期限や雑誌番号(登録時に入力)を指定して、一括除籍予定または一括本除籍が可能であること
14	除籍本の復籍が可能であること また、復籍時には受入区分・受入日を指定できること
(3) 蔵書点検業務	
1	蔵書点検は業務用クライアント、蔵書点検用ノートパソコン(オフライン)、ハンディターミナル(オフライン)で作業ができること
2	業務用クライアントによる点検入力画面に、資料種別・資料番号・タイトル・禁帯区分・所蔵館・保管場所・請求記号・貸出/督促状況・返却期限日・貸出累計情報が表示される
3	業務用クライアントによる点検入力画面で除籍予定・除籍済み資料を読み取った際には、自動的に通知画面が表示されること また、除籍予定資料については除籍予定を解除するか否かの選択が可能であること
4	業務用クライアントによる点検入力画面に、資料種別・資料番号・タイトル・禁帯区分・所蔵館・保管場所・請求記号・貸出/督促状況・返却期限日・貸出累計情報が表示される
5	業務用クライアントによる点検入力画面に、タイトルの上で右クリックすることにより、ローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、点検作業中も資料修正の省力化
6	蔵書点検はオフラインの状態でも実施できる機能を有すること
7	蔵書点検用ハンディターミナルで読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分(保管場所、貸出区分など)の一括変更ができること
8	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること
9	蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行うこと
10	ワンクリックで蔵書点検の進捗確認(点検済・未点検件数の確認)ができること
11	不明更新を行う前に点検もれ(不明候補)資料の一覧を確認・印刷することができること また点検もれ資料の一覧は、配架場所を確認しやすいように、請求記号順に並び替えができること
12	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること
13	不明資料リストは、点検不明回数、初回点検不明を指定して抽出・印刷できること また、点検不明と強制不明(強制返却により不明となった本)は分けて抽出できること
14	不明資料リストは、資料番号・請求記号・受入区分などからソート条件を指定できること
(4) 雑誌管理業務	
1	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル/巻号の書誌連携が行えること
2	タイトルと巻号情報が分けて管理されていること
3	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること
4	逐次刊行物(雑誌等)の欠号・増刊管理ができること
5	逐次刊行物等の製本(合本)処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること

No.	機能仕様
6	最新号を受け入れしたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること
7	雑誌の保存期限を任意で指定できること また、保存期限が切れた雑誌については、業務メニュートップ画面のお知らせに自動的に通知が表示されること
(5) 発注・受入管理業務	
1	発注状況、受入状況が画面で確認できること
2	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること（発注中であることを画面上に表示できること）
3	発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること
4	同一タイトルに対する「二重発注」のチェックを可能とするため、発注点数を表示すること （他に何点発注しているか分かること）
5	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること （受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）
6	発注情報を参照しながら受入処理が行えること
7	資料のISBNバーコードを読み取って書誌を特定して受入できること
8	TRCのMARCデリバリについて、TOOLi-S上に最新のMARCデリバリファイルがアップされると、自動的に自校の蔵書として取り込まれること。また、最新のMARCデリバリファイルが取り込まれた旨の通知メッセージが表示されること
9	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検品処理が行えること （検品画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）
10	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること
11	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること
12	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること
13	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること
4. 利用者管理業務	
(1) 利用者登録業務	
1	利用者番号（利用者バーコード番号）は、手入力またはシステムによる自動採番が可能であること また複数館連用の場合は、学校ごとに自動採番の番号範囲を指定できること
2	利用者情報として、氏名・利用者区分・性別・学籍番号・所属情報（学科/学年/組/出席番号）・パスワード・所属校・貸出区分・登録日・状態区分を登録できること また、必須項目については背景色を任意の色へ設定できること
3	利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること （利用者名漢字欄のローマ字入力に基づいて自動的に振れること）
4	利用者氏名カナ、所属校、学年、クラス、生年月日などで二重登録利用者のチェックを自動的に行えること また、二重登録利用者のチェック項目については、任意に設定できること
5	外部ファイル（CSVもしくはEXCEL）からの一括取込ができること
6	利用者のパスワード情報の登録ができ、OPAC等での貸出・予約のシステムと連動できること
7	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと
8	パスワードの非表示の際に司書のみ確認ができる権限を付与することができること
9	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること また、桁数等の規則設定が可能であること
10	登録したパスワードを利用者へ通知するためのレシートが印刷できること
11	利用者に対してコメント登録機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で複数登録できること。また、通知は毎回表示・表示後消去・表示しない指定ができる
12	登録済利用者情報の修正・除籍・復籍の処理が行えること
13	除籍済み利用者の一括削除が行えること
14	利用者カードの再発行・番号置換が出来ること。その場合、図書館利用データ（貸出・予約情報、貸出累計等）は引き継がれること
(2) 利用者検索業務	
1	利用者氏名・利用者区分・学科区分・学年・組・出席番号・利用者番号・所属校・学籍番号・状態区分より検索処理が行えること
2	複数項目に入力することによりAND検索ができること
3	検索結果画面は、別画面に遷移することなく、条件入力画面と同一画面で表示されること
4	検索中断ボタンを有するほか、中断件数を設定できること
5	利用者一覧画面の並び順を、所属情報・利用者区分・利用者番号・利用者氏名カナから指定でき、昇順・降順を指定できること
6	利用者一覧にて表示できる項目の種類・幅・順番を任意に設定が可能なこと
7	検索結果からワンクリックで利用者の詳細情報を表示できること （氏名、学年、クラス、出席番号、最終利用日、督促累計回数、貸出資料一覧、予約資料一覧、コメント等が確認できること）
8	検索された利用者者を特定することにより、貸出中資料、予約中資料画面へ遷移できること
(3) 年度更新業務	
1	進級に伴うクラス編成処理が行えること （CSVもしくはEXCELデータによる一括取込、クラス編成処理画面による新年度クラスへの移動、新年度の学年・クラスを指定して、出席番号順に利用者カードを読み取るクラス編成処理など複数の方法があること）
2	卒業生の一括除籍が行えること
(4) 督促業務	
1	貸出期限・貸出校・資料種別・利用者区分・所属情報・保管場所・予約の有無をキーとして督促対象者の抽出または督促処理が実行できること
2	未返却資料の内、予約のある資料のみを督促対象として設定が可能なこと
3	一定期間以上、未返却又は、返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促リスト・督促連絡票または個票を印刷する事が出来ること
4	督促連絡票は資料毎の個票でも印刷ができ、プライベートに配慮し、書名・督促回数の出力の有無を選択できること
5	出力順を学年・クラス・出席番号順、氏名順、資料区分順に並び替えることができること
5. 児童・生徒用システム	
(1) 全般	
1	図書委員の児童・生徒が操作できる専用の貸出・返却・資料検索画面を有すること
2	図書委員などの児童・生徒でもわかりやすい画面構成で、かんたんな操作で処理が完了できる機能であること
3	児童・生徒用画面は全画面表示によって他のアプリケーションやOSのシャットダウンなどの不要な操作を禁止できること
4	トップ画面へ、本日の日付・返却予定日・本日の貸出済冊数を表示できること
5	児童・生徒用システムでは、貸出・返却・資料検索以外は使用できないこと
6	児童・生徒用システムでは、学校ごとにメニューボタンの表記を漢字またはひらがなが選択することができること
7	児童・生徒用システム起動時にはログイン情報の入力が必要としないこと。 また、ログイン情報の入力を必須とする設定も可能であること。

No.	機能仕様
8	児童・生徒用システム終了時にはパスワードの入力を必要とすること。
(2) 貸出業務	
1	基本的にはキーボードやマウスの操作なくバーコードの読み込みのみで貸出処理ができること
2	利用者番号と資料番号を読み込んだ時点で貸出を確定し、データベースを更新すること
3	貸出・返却業務をよりスムーズに行う為、確定処理などの操作無しで実施できること。
4	バーコードの読み込みにより、貸出・返却画面切替が可能なこと
5	複数冊の資料の貸出処理を行う場合、利用者バーコードの読み込み後、貸出を行う資料のバーコードを連続して読み込む事で複数冊の資料の貸出処理ができること
6	利用者を呼び出した際、貸出中資料の書名や返却予定日などの情報を表示することができること。 また、個人情報の観点により、貸出中資料の情報を非表示にすることもできること
7	延滞資料有り・貸出冊数上限超過・督促利用者・予約有利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで通知できること その際、ウィンドウによるメッセージ通知は、必要に応じて任意で表示、非表示を設定できること
8	コメント付き資料、除籍資料、不明資料、予約資料、持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで通知できること その際、ウィンドウによるメッセージ通知は、必要に応じて任意で表示、非表示を設定できること
9	利用者および資料に対してのメッセージ通知時に、処理を続行する権限を付与するか、続行不可にするか設定が可能であること
10	前回の利用者の未返却資料を貸出処理すると、通知画面を表示させ貸出の続行するか否か選択できること また、設定によって続行不可にすることもできること
11	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者の今年度貸出累計冊数が表示されること
12	今年度貸出冊数の目標冊数を設定することによって、今年度の目標冊数及び次の目標冊数達成までの残冊数が表示されること
13	今年度貸出冊数の目標に到達した際に画面上にお知らせする表示や音で通知できること
(3) 返却業務	
1	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却が確定すること
2	資料番号を読み込んだ時点でデータベースを更新し、完了処理等は不要なこと
3	バーコードの読み込みにより、貸出画面/返却画面切替及び貸出・返却処理画面の起動が可能なこと
4	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダによる画面切替もできること
5	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報などのメッセージ通知が音声とともに表示できること その際、ウィンドウによるメッセージ通知は、必要に応じて任意で表示、非表示を設定できること
6	コメント付き資料、除籍資料、不明資料、借受資料、予約資料、未貸出資料などのメッセージ通知が音声とともに表示できること その際、ウィンドウによるメッセージ通知は、必要に応じて任意で表示、非表示を設定できること
7	資料に対してのメッセージ通知時に、処理を続行する権限を付与するか、続行不可にするか設定が可能であること
8	資料返却時、同一画面上に返却者や返却者の貸出中資料の書名、返却予定日などの情報を表示することができること。 また、個人情報の観点により、貸出中資料の情報を非表示にすることもできること
(4) 資料検索業務	
1	中学・高校生用、小学校高学年用と小学校低学年用の画面をそれぞれ有し、児童・生徒が使いやすい画面構成であること また、学校ごとに初期表示される画面を設定できること
2	画面を触らない時間（任意設定）が一定経過すると自動的にトップ画面へ戻ること
3	ひらがな、カタカナ、数字、記号の文字入力が可能なこと
4	ひらがな五十音表（文字パレット）から検索キーワードの入力ができること。この時画面表示するひらがな五十音表は右並び、左並びが選択可能なこと
5	フリーワード検索は、資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を指定しない形の「全文検索」が行えること
6	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること
7	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））を特定、または全資料より選択して検索できること
8	検索結果画面では、貸出可能資料の在庫有無が数値以外でもマークにより簡単に判断できること
9	検索結果画面では、ヒットしたキーワードの箇所の色を反転するなどにより簡単に判断できること
10	検索結果画面に分類番号（請求記号）が表示できること
11	検索結果画面からワンクリックで資料の詳細画面が表示できること
12	資料の詳細画面では、現在の予約数・貸出数・貸出可能数が確認できること
13	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書か児童書かで絞った後でもできること）
14	少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること
15	資料に登録された児童・生徒の感想文や司書や先生による推薦文を閲覧または検索できること
16	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること
17	検索結果はタイトル・著者名・出版年・分類順で並べ替え（ソート）が可能なこと
18	検索キーワードは、2文字以内でも中間一致検索が可能なこと
19	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること
20	予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること
21	一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること
22	配架場所を画像表示することができること（配架座標表示）
(3) 一覧検索機能	
1	新着資料・貸出ベスト・予約ベスト・日本十進分類表から資料一覧を表示できること
2	新着資料について新しい本を受け入れた段階で自動的に表示されること
3	貸出ベスト・予約ベストについて抽出する期間（月/週/日）をあらかじめ設定しておくことによって自動的に表示されること
4	任意のおすすめ図書リストを登録することによって一覧表示されること
5	おすすめ図書リストはカテゴリに分けた複数のグループで登録が可能で、登録可能なグループの上限数は無いこと
6	一覧よりタイトルをクリックすることによって資料の詳細情報の確認及び資料の状態（貸出可能・貸出中など）を確認できること
(4) 予約	
1	児童・生徒が自分で資料の予約ができること また、設定により予約の機能を無効にできること
2	予約の際に、利用者番号及びパスワードを入力することによって予約が行えること。また、設定により利用者番号のみでも予約が行えること
3	資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること
4	グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てること）が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと
5	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること
(5) お知らせ	
1	図書館に関するお知らせ（催し物、展示など）を掲載できること
2	お知らせを表示する期間（yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd）を設定することによって自動的にお知らせが表示、非表示されること
3	お知らせ内容に文字情報以外にURLや画像情報としても登録できること
4	お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を学校毎にカレンダー形式で表示できること（システムと連動して自動的に表示できます）

No.	機能仕様
5	お知らせの表示順を制御できること
(7) 利用状況照会	
1	児童・生徒が利用者番号及びパスワードを入力することによって自分自身の利用状況が確認できること また、設定によって利用者番号のみでも確認できること
2	児童・生徒が現在借りている資料の一覧が確認できること
3	児童・生徒が現在借りている資料について延長処理ができること
4	ただし、利用者及び資料の状態が延長可能条件を満たしている場合に限ること
5	児童・生徒が予約中の資料と予約確保されている資料の一覧が確認できること
6	児童・生徒が予約中の資料について予約取り消しができること
6. バーコード・ラベル印刷	
1	資料データを登録する前に、指定した範囲のバーコード番号で資料バーコードの一括印刷（事前印刷）ができること。
2	資料バーコードラベルは、任意の図書館名、バーコード番号を印字でき、バーコードに対して上下の印字位置も指定できること
3	登録済の資料データのバーコードを印刷できること。また、書名も印字ができること
4	請求記号背ラベルが印刷できること
5	請求記号背ラベルは、任意のレイアウト（ラベル）で印刷ができること
6	請求記号背ラベルは、別置記号、分類、図書記号、巻冊記号ごとに印字する桁数を指定することができること
7	請求記号背ラベルは、どの資料のものか判断ができるように、ラベル枠外の余白部分に資料番号が印字できること
8	資料バーコードや請求記号背ラベル印刷は、消耗品を無駄なく使用できるように印刷開始位置（ラベル位置）を指定できること。
9	資料バーコードや請求記号背ラベルの印刷対象は、バーコード番号の範囲による指定か、個別のバーコード番号で指定できること
10	登録済データの利用者バーコードの印刷ができること
11	利用者バーコードは、40名分が1ページにおさまる台帳タイプと、名刺サイズの切り取り線が付いたカードタイプを任意で選択できること
12	利用者バーコードの印刷対象は、所属情報、バーコード番号範囲、個別のバーコード番号で指定できること
13	利用者バーコードは、利用者区分・所属情報・利用者番号・氏名カナから、印字順を指定できること
6. 帳票・統計	
(1) 全般	
1	貸出や返却の統計データについてはリアルタイムにサーバのデータベースから抽出し、日時処理・月次処理等の特別な処理を必要としないこと
2	帳票の出カサイズはA4サイズで統一されていること
3	データ抽出の途中で中断、取消、保留、継続が選択できること
4	帳票印刷はプレビュー機能により画面上で確認でき、プレビュー後に直接印刷、PDF保存、テキスト出力ができること
5	全ての帳票、統計の抽出結果は、画面上でプレビュー表示することができ、そのまま印刷もできること
6	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報・月報・学期・年報・任意の期間を指定して出力できること
7	貸出が一度もない未利用資料の出力ができること。
8	任意の図書リスト（特集コーナー本、授業で使用した本など）を作成でき、保存・呼出・変更・削除ができること。
9	任意の資料を特集本として登録することができ、指定した期間で保管場所を一時的に変更できること。 また、特集として登録する本のリストは、作成済の図書リストからデータを流用できること。
10	帳票の種類について以下の帳票は用意すること
	(資料系リスト)
	・資料台帳
	・図書リスト
	・雑誌タイトルリスト
	・雑誌JANコードリスト
	・請求記号別資料リスト
	・保管場所別資料リスト
	・コメント別資料リスト
	・独自キーワード別資料リスト
	・装備中資料リスト
	・発注リスト
	・受入リスト
	・雑誌受入リスト
	・発注受入金額集計リスト
	・新着資料リスト
	・新刊リスト
	・未利用資料リスト
	・予算執行状況リスト
	・利用状況別資料リスト
	・新着資料リスト
	・雑誌タイトルリスト
	・蔵書点検もれリスト
	・蔵書点検発見資料リスト
	・不明資料リスト
	・強制返却不明資料リスト
	・除籍リスト
	・雑誌一括除籍対象リスト
	・資料バーコード印刷
	・請求記号背ラベル印刷
	(利用者系リスト)
	・利用者リスト
	・利用状況別リスト
	・コメント別利用者リスト
	・利用者ベスト
	・読書記録
	・読書傾向表

No.	機能仕様
	・予約リスト
	・予約連絡票
	・予約個票
	・貸出資料リスト
	・延滞資料リスト
	・督促リスト
	・督促連絡票
	・督促個票
	・除籍利用者リスト
	・利用者カード
	・クラス台帳
	(統計)
	・受払統計
	・分類別蔵書冊数集計
	・細分類別資料年報
	・蔵書場所別種別統計
	・保管場所別蔵書冊数集計
	・利用統計 (年報)
	・利用統計 (月報)
	・利用統計 (日報)
	・利用統計 (学期)
	・利用統計 (期間指定)
	・クラス別利用統計
	・貸出目標統計
	・個人別目標リスト
	・貸出ベスト
	・予約ベスト
	・雑誌タイトル別貸出ベスト
	・資料毎貸出実績表